

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナーその6

南が丘小学校「フレンズ・サポート学習」

南が丘小学校では、3年生以上の学年が総合的な学習の時間において「子どもたちが、自分と人のかかわりの問題を解決するための探求的な学び」として「フレンズ・サポート学習」を実施しています。これは、「ピア・サポート」の考え方を基本とするもので、今年度は10時間の実施を予定しています。



「ピア・サポート」とは？

子どもたちの対人関係能力や自己表現能力等社会に生きる力がきわめて不足している現状を改善するための学校教育活動の一環として、教師の指導・援助のもとに、子どもたち相互の人間関係を豊かにするための学習の場を、各学校の実態や課題に応じて設定し、そこで得た知識やスキル（技術）をもとに、仲間を思いやり、支える実践活動をピア・サポート活動と呼ぶ。

【南が丘小学校各学年の目標】

学年	目 標
3・4年	1. 困ったときに友達や先生などに相談して解決しようと、自分から行動を起こすことができるようになる。 2. 友達とのトラブル場面において、どういう言葉や行動が適切なのかを具体的に考えることができるようになる。
5・6年	1. 問題に対する解決方法を探る活動を通して、自分たちの対人関係スキル（傾聴・承認・共感・提案など）を向上させる。 2. どういう言葉や行動が適切なのかを具体的に考え、人間関係づくりの大切さについて考えることができるようになる。

【今年度の活動】

今年度2回の「フレンズ・サポート学習」を行いました。

☆第1回テーマ

「ピア・サポーター」になろう

☆目標

異学年のグループで親和的なふれあいの中、ピア・サポートとは、どんなことをするのか概要を知り、これから自分が目指すねらいを明確にもたせる。

☆内容

○アイスブレイク（気持ちを和ませ、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作る）

→ バースデー・チェーンでコミュニケーションの大切さに気づかせる。

○「私はキャスター」活動で他者理解を進める。

キャスター役、答え役、聞き役になり、お互いにインタビューし合います。「**あ**いての話を」「**い**い姿勢で」「**う**なずきながら」「**え**がおで」「**お**わりまで」聞くことを目標に取り組みました。



一言も話をせず、誕生日の順番に並びました。



☆第2回テーマ

「コミュニケーション」って何？

☆目標

異学年のグループで親和的なふれあいの中、コミュニケーションの概念を学び、非言語コミュニケーションのゲーム体験をしながら、言語的そして非言語的コミュニケーションを学ぶ。

☆内容

○アイスブレイク（気持ちを和ませ、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作る）

→ 「キャッチ」という活動を通して子ども同士の心の距離を縮める。

○「言葉のみのミラーリング」、「言葉に表情をつけてのミラーリング」により他者理解を進める。